

進学事典
応援号

2000字のキャリアレポートを書く資料として『進学事典 応援号』を活用

— 仙台育英学園高校(宮城・私立) —

取材・文／永井ミカ



特別進学コース
第3学年主任
庄司昌弘先生

School Data

創立 1905年／普通科
生徒数 2509人(男子1607人・女子902人)
進路状況(2014年実績(特進コースのみ))
卒業生211人中、大学進学205人、専門各進学6人

夏の甲子園での準優勝も記憶に新しい仙台育英学園高校。100年を優に超える歴史を誇る私立のマンモス校だ。校舎は2カ所に分かれ、学部コースも入学時点で普通科6コースに分かれている。「進学事典 応援号」を活用しているのは特別進学コースの2年生。難関大学への現役合格を第一の目標に置いたコースである。

志望動機を明確にし 着実な進路プランニングを

同校同コースの進路指導は、1年生の東北大学オープンキャンパスへの全員参加から始まる。「難関大学への現役合格という目標がはっきりしたコースのため、なかなか職業観育成などのキャリア教育に時間を割けない。それにより、大学合格後ミスマッチも起こっているのではないだろうか」という課題感がありました」と言うのは、特別進学コース第3学年主任の庄司昌弘先生。推薦で進学する生徒も多いが、志望理由書の指導に苦労する。もしかして、大学をネームバリューや取れる資格だけで安易に選んではないだろうか。そんな思いから始めたのが、「レポート2000『私のキャリアデザイン』」だ。

これは2年生で取り組む2000字のレポート。「将来の進路志望を単なる夢とせず、実現への着実なプランニングおよび実践につなげるため、読書を通じて希望する職業への理解や目的意識を深める。併せて、その職業に携わろうとする

動機・理由を深く考察することで、志望大学・学部への進学意識の明確化を図ることが目的だ。

学校比較をすることで 冷静に志望校を絞り込める

自己を見つめレポートにじっくり取り組めるよう、生徒はまず、12月に「進学事典 応援号」付属の適性テストを受ける。冬休みの前に結果を返却し、職業についても視野に入れながら進路希望の再確認をし、家庭でも話し合う。1月に「進学事典 応援号」を配布。希望の大学や、その他の大学について調べ比較をし、パンフレットを取り寄せる。「客観的資料を冷静に読み込むことで、視野を広く持ち、漠然とした不安を払拭し、親子で話し合うベースにもしてほしい」と庄司先生は言う。

これと同時に進行で、国語の時間を利用して図書室で進路志望に関連する図

書を選び、冬休みの間に読む。1月に志望動機・関連図書報告レポート、続いて2月に参考図書要約レポート(左参照)を提出し、2年生いっぱい2000字のレポートを作成する。

昨年、このレポートを書いた教員志望の生徒は言う。「最初はとも2000字も書けると思いませんでした。けれども、自分がなぜ先生になりたいと思ったかを考え、確認していくうちに、書くことがおもしろくなっていきました。第1志望校は変わりませんが、『進学事典 応援号』で、他大学の教育学部も比べたことで、志望校への思いがますます強くなりモチベーションが上がったのもよかったです」
3年生になったら、このレポートを元に担任が面談を開始する。じっくり時間をかけて一度書いたレポートは、その後の校内選考の志望理由書や、大学の志望理由書を書く際のベースになる。一般受験をする生徒にとっても、自己確認の作業になるそうだ。

レポート2000「私のキャリアデザイン」 に向けてのワークシート

ダウンロード可

志望職業・職種、または興味のある学問についてその動機を書く。さらに、それに関する図書を選んで読み、その内容や興味をひかれた点、学んだことなどを書く。その後、2000字のレポート作成へ。